

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護の基本V Fundamentals of Care V		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護の基本I～IV、介護過程I～IV				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護の基本VI				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
森 千佐子	福祉棟2F	月・水・金曜日 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「介護の基本V」では、サービスの概要およびサービス利用のプロセス、ケアマネジメントの概念とプロセスについて学習する。また、さまざまな介護サービス提供の場の特性について理解し、その場における介護福祉士の役割について考える。さらに、利用者を支える多職種の機能と役割、連携（チームアプローチ）の方法、地域における資源と連携の必要性および方法について学ぶ。</p>				
授業の目標				
<p>①高齢者および障害者に提供されるサービスを列挙でき、内容および利用のプロセスを具体的に説明できるようにする。  ②介護サービス提供の場の特性および介護福祉士の役割について説明できるようにする。  ③介護実践における他職種との連携、地域連携の意義および方法について説明できるようにする。  ④ケアマネジメントの目的や構成要素、プロセスおよびケアプラン作成の視点について説明できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>講義中心であるが、サービスの概要については、分担して各自調べた内容を発表することで知識の共有を図る。また、多職種および地域連携が必要となる事例を用いて、ロールプレイやグループディスカッションを行う。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>介護サービスの概要や特性および介護サービスの利用プロセスをふまえて、利用者の状態や生活状況に適したサービスを選択することができる。また、ケアマネジメントにおけるインテークの技術を習得し、利用者に必要な多職種および地域との連携の内容や方法について考え、ケアプランに活かすことができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など） 介護サービスの特性① 介護サービスの意味と特性			
第2回目	介護サービスの特性② ケアマネジメントの意味としくみ、介護サービスの種類と提供の場			
第3回目	介護サービス提供の場の特性① 【サービスの調査】 〈調べた資料を第4回目の授業前日までに提出〉			
第4回目	介護サービス提供の場の特性② 【発表】			
第5回目	介護サービス提供の場の特性③ 【発表とまとめ】			
第6回目	介護実践における多職種連携① 多職種連携の意義と目的、他職種の機能と役割			

第7回目	介護実践における多職種連携② 利用者を取り巻く多職種連携の実際	
第8回目	地域連携① 地域連携の意義と目的、地域連携にかかわる機関の理解	
第9回目	地域連携② 利用者を取り巻く地域連携の実際	
第10回目	ケアマネジメントの実際① ケアマネジメントの目的とプロセス、インテーク・アセスメント 【DVD視聴】	
第11回目	ケアマネジメントの実際② インテーク・アセスメント 【ロールプレイ】	
第12回目	ケアマネジメントの実際③ ケアプラン作成のポイント① 【講義とグループディスカッション】	
第13回目	ケアマネジメントの実際④ ケアプラン作成のポイント② 【グループディスカッション】	
第14回目	ケアマネジメントの実際⑤ ケアプラン作成のポイント③ 【発表とまとめ】	
第15回目	ケアマネジメントの実際⑥ 【まとめ】 〈ロールプレイの振り返り用紙を提出〉	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、不明な点は質問すること。また、ロールプレイやグループディスカッションに積極的に参加し、他者の意見を聴き自分の意見を述べること。
レポート		
調査報告書	10%	担当したサービスについて調べて発表する。S評価の報告書は内容が正しく、利用者等に説明することを考え、わかりやすくまとめていること、使用した資料を明らかにしていることなどである。（詳細は授業で説明する）
小テスト		
試験	40%	穴埋め、記述、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。
発表内容（態度含む）	30%	①サービス調べ：聞き取りやすく、質問に的確に答えている。②ロールプレイ：目的に応じて準備を行い、役割に応じた発言をしている。③ケアプランの点検内容をわかりやすく発表している、などが評価の視点である。
その他		
教科書と参考図書		
教科書：新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版（介護の基本Ⅰ・Ⅱと同じ）		
履修上の留意点・ルール		
講義・演習ともに積極的に参加し、学びを共有してほしい。介護の基本Ⅰ～Ⅳ、介護過程Ⅰ～Ⅳの内容を十分に復習し、授業に臨むこと。机の上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。		